

「1年生 ふれあい合宿（令和4年5月18日～19日 門司少年自然の家）」

「ふれあい合宿」は、中学校での集団生活に必要な心を学ぶための行事です。時間とルールを守る規律の心、自分の与えられた仕事を責任もって行う心と協力する心、仲間を大切にして協調する心、自分がしたいことを我慢したり、きついことをあきらめずに頑張る心です。1年生が、2日間の経験を通して学んだことを、今後の中学校生活に活かすことを心から期待しています。

○生徒の感想

自然がたくさんある中でも友達と協力すると、できないこともできるんだなと思い、初めて話す友達でも、こんなにもちゃんと協力できるんだなと感じました。

スマホのない生活は嫌だなと思っていたけど、ふれあい合宿で実際に生活してみても、スマホのない生活もいいなと感じました。テレビやスマホなど物のせいで時間を奪われていることが分かった。

山登り等とてもきつかったけど、その中で友達との仲がより深まったなと感じました。話したことのない人とも仲良くなれて嬉しかったです。不自由な生活の中にも楽しいことがたくさんあることがわかりました。

今回のふれあい合宿を通して、親の大切さや友達の大切さを改めて知りました。今の生活ができていることに、いろいろな人が関わっているんだなと思いました。

不自由な生活の中でも、積極的に働くことで、全体の雰囲気が変わってくることを感じました。

あえて不自由な生活を送ることで、慣れないこともたくさんあると思うけど、大変な生活の中友達の大切さを改めてちゃんと気づきました。

前は自分から進んであまりあいさつはできなかつたけど、ふれあい合宿を通して、大きな声で自分からあいさつができるようになりました。

僕が一番成長できたのは、あきらめずに頑張れば、どのようなこともできることと協力でした。

責任をもつことは大変なことだけど、その分楽しさや達成感があってすごくいい経験になりました。

ふれあい合宿に行く前は、登山など嫌だなと思っていたけど、それを終わらせた後達成感等があって楽しかったです。

学校生活で使えることを学びました。一つ目は5分前行動をすることで、予定が計画通りになり、二つ目は協力することの大切さです。協力すると楽しくなっていたからです。

遊ぶときは遊んで、しっかりする時はしっかりするメリハリの大事さを知ったので、学校生活に活かしたいと思いました。

